

「私たちのまち」の決算

令和2年度

決算からみる町の財政事情

【財務課 財政係】 ☎ 629126

一般会計の決算

一般会計の歳入は、前年度に比べ25億8,222万円増加し、103億1,456万円となりました。このうち主な財源である町税は24億4,575万円でした。歳出は、前年度に比べ22億4,367万円増加し、95億9,978万円となりました。

歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越した事業の財源を差し引いても、5億7,955万円の黒字となるため、健全な財政運営が行われています。

103億1,456万円 うち町税 24億4,575万円 歳入	黒字	5億7,955万円
		翌年度財源 1億3,523万円
		95億9,978万円 歳出

一般会計 予算現額 107億7,808万円

◆歳入の特徴

【町税】

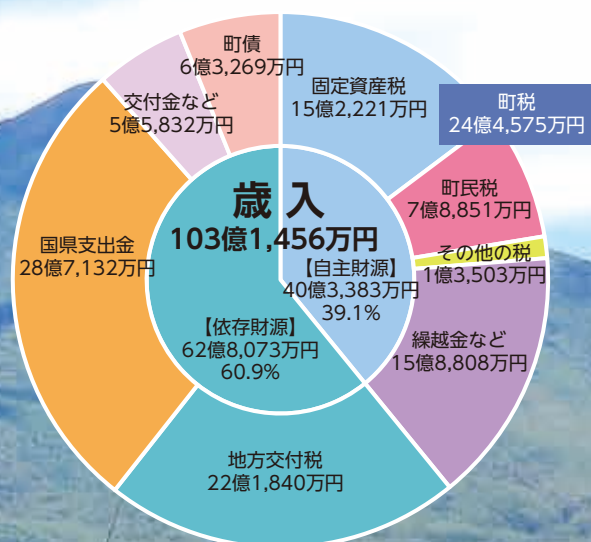
町の主要財源である町税は前年度に比べ1,606万円の増額となりました。固定資産税は、新築家屋の増加や太陽光発電施設建設等により3,445万円増加しました。町民税は、法人町民税が税制改正による税率引き下げやコロナ禍の影響により、法人税割、均等割ともに減少し、3,236万円減少しました。

【繰越金など】

ふるさと納税が1億517万円増加し寄附金は2億3,818万円となりました。また、前年度までに積み立てた1億3,022万円を取り崩し、高齢者や子育て、教育支援など様々な事業に活用しました。

【国県支出金】

特別定額給付金事業費補助金、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金が増加しました。



◆歳出の特徴

令和2年度は防災・災害対応力の強化を図るとともに、新型コロナウイルス対策を積極的に実施しました。

【投資的経費】

防災対策として、河川改修、防災ステーション整備、ふれあいセンターふじみ外壁改修、清泉荘床改修などを行いました。富士見駅北通り線整備は継続して工事を行いました。

台風などによる災害はなく、前年度までの災害復旧は完了しました。

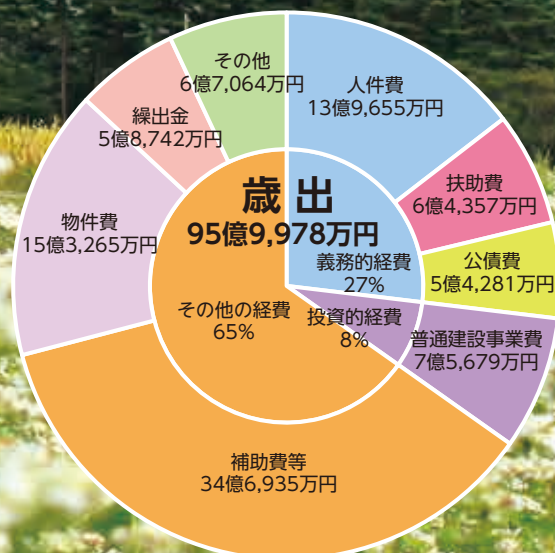
【補助費等】

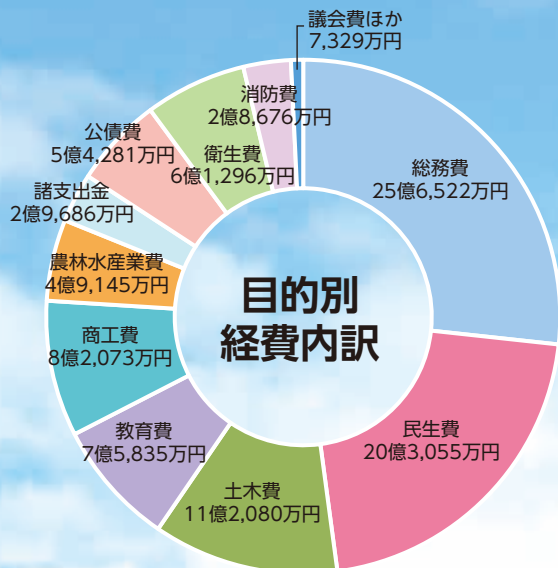
国の新型コロナウイルス対策である特別定額給付金が14億4,030万円と割合が多く、町独自の事業としては、持続化給付金追加支援事業や応援振興券事業を行いました。

また、令和3年10月に開所した諏訪南リサイクルセンター建設に伴う負担金が増加となりました。

【物件費】

二大観光施設の無料開放などの誘客事業、工業オナイン展示会事業、感染対策物品の購入などを行いました。





総務費	一般事務経費 (他の費目に当てはまらないもの)
民生費	児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉
土木費	道路や河川、都市計画整備
教育費	学校教育、社会教育の充実
商工費	商工業の振興や観光宣伝、観光施設の整備
農林水産業費	農業の振興や農道、水路の整備
諸支出金	基金へ積立など
公債費	借入金の返済
衛生費	健康づくりや疾病予防、ごみ処理の経費
消防費	消防活動や救急
議会費ほか	議会活動の経費など

引上げ分の地方消費税（1億7,490万円）は以下の社会保障施策の財源に充てました

★総合福祉（社会福祉協議会助成など）	5,346万円	(1,114万円)
★医療（国民健康保険、福祉医療費など）	5億3,689万円	(4億2,518万円)
★介護・高齢者福祉（介護保険、介護予防など）	4億2,560万円	(3億 696万円)
★子ども・子育て（保育所運営、児童手当など）	7億 754万円	(4億1,602万円)
★障がい者福祉（自立支援など）	2億9,442万円	(9,652万円)
★貧困・格差対策等（生活保護など）	275万円	(100万円)

※（ ）内は事業費のうち国や県からの補助金などの財源を除いた一般財源分

◆主な事業

特別定額給付金給付事業	14億4,940万円
商工振興事業補助金	2億4,666万円
自立支援給付事業	2億2,390万円
ふるさとみらい基金積立金	2億994万円
ふるさとみらい寄附金事業	1億2,112万円
河川改修事業	1億7,275万円
事業者・町民応援振興券事業	1億4,308万円
諏訪南行政事務組合負担金	1億2,048万円
持続化給付金追加支援事業	1億1,708万円

道路維持修繕事業	1億814万円
攻めの誘客事業	9,984万円
GIGAスクール環境整備事業	9,186万円
財政調整基金積立金	8,568万円
福祉医療費給付事業	8,160万円
防災施設整備事業	6,516万円
都市計画道路整備事業	5,701万円
住宅リフォーム支援事業	5,643万円
移住・定住促進事業	4,867万円

◆特別会計・公営企業会計の決算状況

特別会計の決算

会 計 名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	18億749万円	14億5,784万円
後期高齢者医療特別会計	2億1,462万円	2億1,095万円
観光施設貸付事業特別会計	3億4,456万円	3億2,875万円
富士見財産区特別会計	1,133万円	744万円
本郷・落合・境財産区特別会計	4億825万円	4億554万円
乙事財産区特別会計	918万円	423万円

公営企業会計の決算

会 計 名	収入	支出
水道事業会計	収益的収支	6億5,027万円
	資本的収支	971万円
下水道事業会計	収益的収支	12億7,655万円
	資本的収支	2億2,107万円

◆基金の状況

昨年度に引き続き、

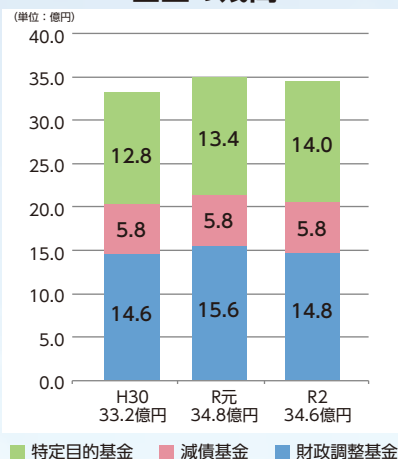
財政調整基金を取り崩しました。

町の貯金である基金の状況をお知らせします。主なものとして、財政調整基金と減債基金があります。財政調整基金は、災害など「いざ」という時やまちのづくりのための貯えとなります。減債基金は借入返済のためのものです。

例年、その年の財政状況を勘案して、取崩と積立を行っています。昨年度から引き続き、都市計画道路整備の不足財源を賄うため財政調整基金を取り崩しました。

特定目的基金は、特定の事業を行うための基金で、ふるさとみらい基金や義務教育施設整備基金などがあります。

基金の残高



◆財政指標の状況

すべての指標において

健全な財政が保たれています。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算定した、健全化判断比率と資金不足比率をお知らせします。

「早期健全化」と「財政再生」の2段階の基準によって自治体の財政悪化をチェックするとともに、国保会計や上下水道会計、第三セクターなども含めて、自治体の財政状況を明らかにするものです。

いずれの指標も基準を超えると財政が悪化していると判断されますが、富士見町ではすべての指標について基準には達しておらず、健全な財政が保たれています。

指標	内容	比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計等の実質赤字額の割合	—	14.86%	20.00%
連結実質赤字比率	すべての会計の実質赤字額の割合	—	19.86%	30.00%
実質公債費比率	公債費及び公債費に準じた経費が占める割合	4.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき負債の割合	—	350.0%	
資金不足比率	公営企業会計ごとの資金不足の割合	—	20.0%	

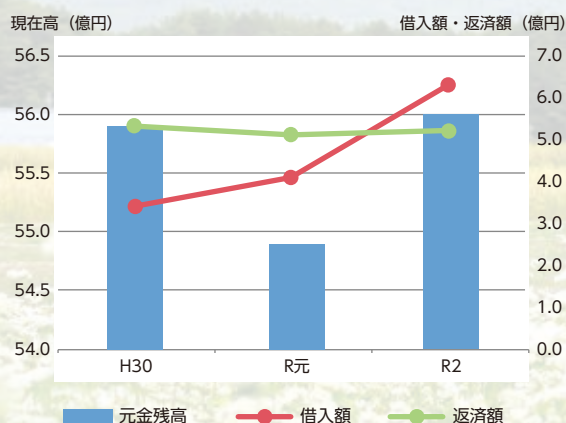
※「—」は比率が生じていないことを示しています。

◆借入金の返済額・残高

一般会計では、新たに6億3,269万円の借入を行いました。防災減災対策を推進するため、切掛川などの河川改修や防災ステーションなどの防災施設整備、避難所となる施設への空調設置やトイレ改修の財源として活用しました。残高は増加しましたが、借入金の返済に対して国からの普通交付税により大部分が補てんされるため、健全な財政運営が継続できます。

下水道事業会計では、流域下水道の終末処理場建設負担分、公共下水道の自然流下方式への移設工事において借入を行いました。一般会計と同様に補てんされます。

一般会計 町債残高の推移



区分	令和元年度末	令和2年度中			令和2年度末
	残高	借入額	元金償還額	利子償還額	残高
一般会計	54億8,883万円	6億3,269万円	5億1,886万円	2,395万円	56億 266万円
水道事業会計	4億2,807万円	—	8,621万円	1,295万円	3億4,186万円
下水道事業会計	48億1,773万円	1億 350万円	7億 192万円	1億1,013万円	42億1,932万円